

筑前國續風土記 卷之三十目録

土産考下

百穀類 菜蔬類 藥品類
 果蓏類 衆草類 諸竹類
 群花類 海藻類 樹木類
 草栴類

筑前國續風土記 卷之三十

土産考下

○穀類

貝原篤信選定
 貝原好古編錄
 竹田定直校正

【稻】 筑紫米、いにしへより名産とす。就中肥後、筑前の米を佳品とす。飯として香甜なり。酒に醸して味あつし。國中最、上座、夜須を佳品とす。凡稻の品類甚多し。各名有。舉てかぞへ難し。○香稻二種有。味も香もよし。補益の性あり。地を悉らび、且取實すくなきとて、農人多く作らず。中華の書にも如此いへり。

【早米】 國中いづくにもあり。未熟なるをいり、おしひらめて果とす。性あし。病人食ふべからず。凡早稻は性つよくして、病人にいむ。志摩郡波多江

慈姑 烏芋 渡邊 水蔞草 萍蓬草

右の外猶菜類多し。あげて記し難し。

○藥品類

【鶴虱】 天名精とも云。葉は腫物を治し、折傷をいやす。妙藥なり。見知ておくべし。野にも、林にも多き物なり。たばこの葉に似たり。其實はくさし。藥とす。

【紅花】 上座、下座、鞍手郡の境園等に、多く作て利とす。藥とし、紅粉とし、染色とし、其苗若き時は食す。味よし。實は油とす。其用多し。麝香をいむ。べに染の衣服に、麝の氣ふるれば色かはる。

【茯苓】 處々山中より出。秋月の奥江川に多し。白茯苓、堅くして、純白なるを良とす。又茯神あり。

【蓮肉】 蓮は處々の池にあり。紅有。白あり。一處にうゝれば、白きは枯る。多くうふれば、民用に利あり。蓮根は鐵器をいむ。根、葉、花、實、莖皆用ふ。蓮莖は花のしべなり。藥とす。近年唐蓮を多

くうゝ。其品亦多し。

【茨實】 處々の池に生ず。鞍手郡植木村の池に尤多し。おにはすと云。實は藥に用ゆ。性よし。又紛となして食す。其實の苞の形、鶏の頭に似たり。故に鶏頭實と云。

【沙參】 處々に多し。葉は杏葉、又は桔梗に似たり。俗にとゞきと稱す。其花小にして、すゝの如し。延喜式太宰府貢物に人參を載たり。然ども今は人參なし。凡延喜式にしるす所の貢藥は、多くは和藥ならん。然らば人參といへるは、沙參なるべし。本草を按するに、張潔、古は沙參を以て人參にかへ用ゆ。證類本草に、餘州人參とあるは、沙參なり。是中華にも、沙參を人參と稱す。然ば延喜式に載る所の人參は、倭の沙參なるべきか。凡日本には人參にかへ用る物多し。沙參、羊乳根、委蛇の外はいづれも宜からず。用ゆべからず。ふし人參と云物、此國にも處々多し。味苦くして、性あし。是を用ゆべから

す。近年上方にはやる人參と云物あり。遠賀郡白鳥にあり。
本國風也。人參として用ゆべからず。性あし。

【羊乳根】 是も沙參の別種にて、性も同じ。人參にかへ用ゆべし。處々の山中にあり。蔓人參と云。其花沙參より大にして、つうがねに似たり。故に又つうがね人參とも云。本草綱目沙參の條下に見えたり。其蔓紫色にして三葉あり。其ある處、人の手ふれざれども、其香まざれなし。まことに藥草と云べし。怡土郡瑞梅寺山に産するは、其根まるし。里にうふれば枯やすし。

【薏苡仁】 藥とし食とす。粥にして食す。葉は茶に加へ煎す。香も性もよし。むねを開き、食をすゝむ。又粒大なるあり。藥とするに堪ず。民俗つらぬきて數珠とす。

【常山】 本草を考ふるに、二種あり。一種はくさざと云。樹大なり。其葉をばして、賤民是をあつ物とし、あへ物として食す。性よからず。一種は茶の葉に似たり。小木なり。くさし。此一種常山、此地稀

也。住吉村邊にあり。二種ともに藥に用ゆ。

【前胡】 野だけと云。山に多し。

【龍膽草】 處々山野にこれあり。秋、瑠璃色の花さく。花もみつべし。りんだうと云。

【牽牛子】 花青、白、紺、赤色々有。其實黒、白有。藥とす。又油とす。一種小あさがほあり。

【蔓荊子】 志摩郡など所々海邊に多し。

【海金沙】 村野に多し。蔓草なり。

【天南星】 二種あり。一種は莖斑にして、菟藟のごとし。一種は芋の葉の光の如し。三にわかる。赤き實有。二種共に用ゆ。冬春の初根を取。毒有。共に林中に在。

【草麻子】 藥とし。油とす。民用に益あり。毒有。不可食。

【栝樓】 根も核も藥に用ゆ。實の若き時、鹽漬とす。瓜のごとし。核は栝樓仁なり。根をたぐきたる汁、水飛して天花粉とす。餅とし、食して饑饉を助く。

二種あり。一種牛ごうりと云は、性あしく用ゆべからず。玉づさは又別なり。王瓜と云。

【枸杞】 から日本二種あり。性すぐれたり。實は藥とす。葉はほしても食す。又茶とす。唐くこ尤よし。和枸杞もからにあり。本草に見えたり。枸杞の皮、地骨皮と云藥なり。

【五加木】 根の皮を藥とす。五加皮と云。葉は食す。苦し。性よし。ほしても食す。又茶とす。味甘きもあり。ひめうこきと云。鬼うこきあり。葉大なり。

五加皮酒、中風によし。

【防己】 つゝらに作り、かづらとし、繻のごとくに用ふ。民用を助く。山中に多し。

【冬葵】 小あふひと云。其根は藥に用ゆ。花はよからず。又錦葵あり。花紅紫にしてよし。是は藥に用ひず。

【艾葉】 處々田野に多し。就中竈門山に産するをよしとす。伊吹山の産に似て長大なり。凡もぐさは、

若き時とるを良とす。と醫書に見えたり。三月三日、尤よし。五月五日にもとるべし。

右の外 當歸 川芎 藁本 地黃 麥門冬 天門冬
山梔子 紫蘇 葛根 荊芥 細辛 香附子 香薷
白扁豆 木通 車前子 玄參 苦參 菖蒲 栝子
茴香 白芥子 商陸 瞿麥 金銀花 白芨 茵陳
紫苑 金佛草 桑白皮 木賊 決明子 益母草
澤蘭 黃精 牛膝等の藥種、みな當國にあり。悉く
舉がたし。

○果 蔬 類

【棗】 長きとまるきと二種あり。大なるを藥に用ゆ。熟したる時取て、日によく干て後、むして干べし。後にもをり／＼日に干べし。然らざれば蟲食ふ。熟せざれば性惡し。朝鮮棗は、實大にして茶を入る漆器に似たり。故に其器をなつめといふ。形似たれば也。紹興利休等が書る物には、なつめ形といへり。後人は略して只なつめと云。朝鮮棗、今此地にも種を傳へ

資料 34

日本新薬について

事業報告について

患者さん・ご家族の皆様へ

医療関係者の皆様へ

株主・投資家の皆様へ

入社希望の皆様へ

ハーブの館 TOP

山科植物資料館

資料館の概要

資料館のあゆみ

四季の見どころ

薬草拾四撰

資料館パンフレット

ご利用案内・アクセス

Web magazine

今月の花

植物こぼれ話

植物図鑑DB

お問い合わせ

ピックアップ

つらい生理痛から開放されたいあなたを応援します。

EDの理解から治療に関する情報と、シアリスの適正使用まで

関連リンク

『植物の話あれこれ』

イブキジャコウソウ

Thymus serpyllum L. subsp. *quinguecostatus* Kitam. (= *T. quinquecostatus* Celak.)
(Lamiaceae/シソ科)



イブキジャコウソウ

※画像の部分をクリックすると大きな画像がご覧いただけます。

日本のタイム「イブキジャコウソウ」

「タイム(Thyme)」は、最もよく知られているハーブの1種である。その葉、または、開花期の地上部を、肉料理やカレー料理のほか、ハムや、ソーセージの香りづけなどに用いる。昔から煮込み料理には欠かせないハーブとして親しまれている。その人気の秘密は、タイムの気品ある爽やかな香りと風味である。薬用としても、ハーブティーにして、風邪、気管支炎、咽頭炎などに利用される。また、血行をよくし、消化を助ける作用があるということで、このタイムティーを愛飲している人も多い。タイムは、また、浴湯料としても使われる。タイムを水蒸気蒸留して得られた精油成分は、「タイム油(Thyme oil)」と呼ばれる。「チモール(Thymol)」などの成分を含み、鎮痛、鎮咳、駆虫薬のほか、歯磨きやソースの香料などに用いられる。

一般に「タイム」という名で呼ばれる植物はヨーロッパ原産の「タチジャコウソウ」*Thymus vulgaris* L. のことである。英名で“Common thyme”、“Garden thyme”あるいは“French thyme”などと呼ばれている。しかし、同属の他のいくつかの種も、「タイム」と呼ばれ、ハーブとして利用されている。例えば「ヨウシュイブキジャコウソウ」*Thymus serpyllum* L. (英名; “Mother of thyme”あるいは“Wild thyme”)や「レモンタイム」*Thymus x citriodorus* (Pers.) Schreb. ex Scheigg. (英名; “Lemon thyme”)などである。「イブキジャコウソウ」もその1種である。

Thymus属(イブキジャコウソウ属)植物は、ヨーロッパ、アジア、アフリカなどに約35種が分布している。いずれも枝が細く、葉も小さな低木である。これらの種の中で、唯一日本に自生しているのは、「イブキジャコウソウ」である。このことから「イブキジャコウソウ」は、「日本のタイム」と呼ばれている。「イブキジャコウソウ」

ウソウ」は、「タチジャコウソウ」に極めてよく似た性質をもっている。含有成分や、香りもほとんど変わらない。その利用の仕方も、「タチジャコウソウ」と同じように、「タイム」として使われる。ただ「イブキジャコウソウ」は、「タチジャコウソウ」と異なり、ややつる性で、地面を這う性質をもつ。そして、ジュウタンのような群落を形成する。地上部の高さも5～15cmである。木本類では最も矮性であるといわれている。これに対し「タチジャコウソウ」は、その名が示すように、茎が立つ性質をもつ。地上部の高さも30cmほどになる。このことが、両者間で異なる。

「イブキジャコウソウ」は、北海道から九州までの日本列島と、中国、ヒマラヤ、アフガニスタンにかけての温帯から寒帯地域に分布している。日当たりの良い山の岩場や草地、時には、海岸などに生える小低木である。茎は細く、ややつる状に張り、節から根を出す。葉は、小さく、長さ5～10mmである。葉の先は円く、葉の両面には小さい分泌腺が点在している。植物体に触れると、その香気が触れた部分へ移る。葉や茎を摘むと、よい香りが周囲に漂う。夏には、枝先に小さな花穂をつくり、写真に見られるように、可憐な淡いピンクの小さな花を多数着ける。花は唇形で、花冠は長さ5～8mmである。和名の「イブキジャコウソウ（伊吹麝香草）」は、伊吹山に多く分布し植物全体に麝香のような芳香があることに由来する。

この植物は、別名で、「ヒャクリコウ（百里香）」とも呼ばれる。この植物の芳香が、百里四方にも及ぶほど遠くまで漂うという意味である。それが事実であるかどうかはともかく、この植物の香りの強さを言い表して、このような名前がつけられたのだと思う。この植物の学名（属名）“Thymus”は、“thyein”（香りを放つ）に由来するギリシャ古名“thyme”に基づくと言われている。この属の植物の多くが、芳香を放つことを特徴とすることによるものと思われる。英名の“Thyme”も、上述のギリシャ語の“thyein”に由来する。“thyein”には、「甘い香りに満ちる」という意味のほかにも、「犠牲をささげる際に香を炊く」という意味がある。古代ギリシャ時代に、自分の罪をあがな贖うために、小動物をいけにえとして神にささげた。その際、このタイムを香料として一緒に炊かれたのかもしれない。タイムには、罪を清めたり、邪気を払ったりする効果があると信じられていたのであろうか。あるいは、タイムの芳しい香りが、神に喜ばれるささげものと考えられて、この香が炊かれたのであろうか。いずれにしても、そのような神聖な儀式にも、このタイムの香りが使われたのに違いない。

「イブキジャコウソウ」をはじめ、「タイム」と呼ばれる植物の香りの特徴は、すがすがしく、きりつとしたところである。古代ギリシャ人たちの間では、「あなたはタイムの香りがする」といわれるのが最高の賛辞だったと伝えられている。「タイム」の芳香の主成分は、チモール、カルバクロー、シメン、ピネン、リナロールなどからなる精油である。「イブキジャコウソウ」の全草は、生薬「百里香」と呼ばれ、薬用に使われる。花期に、地上部を採取し、水洗いして陰干しする。これに熱湯を注いで、ハーブティーとして、服用する。芳香成分には、発汗作用や、利尿作用、強壮作用のあることが知られている。また、血行をよくし、消化を助ける作用があるとのことである。これを、たん痰や、咳、風邪、頭痛、気管支炎、咽頭炎などの治療に利用される。また鎮痛、鎮咳、駆虫薬としても使われる。「イブキジャコウソウ」は、また、開花時に地上部を刈り取り、香りつけの目的で、浴湯料に配合される。食用としても、煮物の香りつけに使われる。

「イブキジャコウソウ」は、上記学名のほか、「ヨウシュイブキジャコウソウ」の亜種や、変種として記載されている文献が多く見られる。すなわち、

Thymus serpyllum L. ssp. *quinquecostatus* (Celak.) Kitam.

Thymus serpyllum L. var. *ibukiensis* Kudo

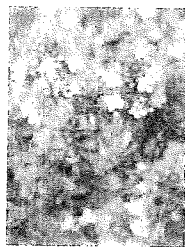
などである。「ヨウシュイブキジャコウソウ」は英名で“Creeping thyme”（這う性質のタイム）とも呼ばれている。学名（種小名）の“serpyllum”も、「ヘビのように地を這い生育する」という意味で、この植物の習性を表わしている。「ヨウシュイブキジャコウソウ」は、「イブキジャコウソウ」と同様に、つる性で、地面を這う性質をもち、地上部の高さも5～15cmである。そして、マットのように敷きつめた群落を形成する。このような事実からも、「イブキジャコウソウ」と「ヨウシュイブキジャコウソウ」とは、きわめて近い関係にある種と考えられる。

「ヨウシュイブキジャコウソウ」は、「ワイルドタイム(Wild thyme)」と呼ばれ、やはり、ハーブとして料理の香りづけや、薬用に利用される。この植物は、ヨーロッパ、北アフリカからアジアに広く分布している。中国では、この植物の全草を乾燥したものを、生薬「地椒」と呼び、発汗、整腸、鎮咳などに用いる。「ワイルドタイム」は、上述のように「イブキジャコウソウ」と同様に匍匐性である。この性質を利用して、ヨーロッパでは庭園に芝生の代わりに植えられていると聞く。その上を踏み歩くだけで、芳しい香りが漂ってくる。その上

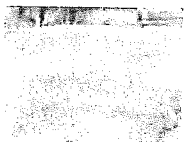
に草座にすわり、雑談したり、弁当をひろげながら、香りを楽しむことができる。それだけでも、どれだけ生活に潤いをもたらすことができることだろうか。イギリスの哲学者フランシス・ベーコンは、庭園について書いたものの中で、「踏みつぶすと空中に芳香を放って楽しくなるものが3つある」として、その中の1つに「ワイルドタイム」をあげているとのことである。日本の各地の公園や庭園にも、芝生の代わりに、日本のタイム「イブキジャコウソウ」を植えてみてはいかがであろうか。どれほど人々に喜ばれるか、はかりしれない。手入れには、多少の労力が必要と思われるけれども。当館でも、このような試みを少し行っているところである。

代表的なタイムである「タチジャコウソウ」は、ヨーロッパ南部、地中海沿岸地域の原産である。香料のタイムを探るためにヨーロッパ各地で栽培されている。特にフランスなど地中海沿岸地域で多く栽培されている。

(「プランタ」研成社発行より)



イブキジャコウソウの花



満開のイブキジャコウソウ

※画像の部分をクリックすると大きな画像がご覧いただけます。

| [バックナンバー](#) [植物図鑑DBトップ](#) |

会社情報	事業情報	健康情報	医療関係者向け	株主・投資家向け	採用情報
トップメッセージ 経営理念・経営方針 コーポレート・ガバナンス 日本新薬グループ行動規範 コンプライアンス CSR 会社概要 役員紹介 これまでの歩み 事業所一覧 子会社・関連会社 NEWS 2011	医薬品事業 機能食品事業 グローバル展開	中高年のおしこや泌尿器の悩み 鼻づまり対策室 鼻アレルギーお役立ち情報 アレルギーの悩み 骨髄異形成症候群(MDS)を知る 健康の料理法 女性の健康チェックアップ 健康寿命学 患者向医薬品ガイド 市民公開講座・セミナー情報	製品一覧 製品情報のお知らせ 2011 セミナー情報 JANコード GS1-RSSコード 薬価基準収載医薬品コード、個別医薬品コード、レセプト電算処理システムコード 書籍のご案内	トップメッセージ IR NEWS 2011 IR カレンダー 2011 決算情報 IRライブラリー 株式情報 個人投資家の皆様へ 電子公告 IRポリシー 事業等のリスク 免責事項 IR情報サイトマップ	採用ホームページ2012

[レーザー光線](#)

[免疫細胞療法](#)

[ほうれい線 マッサージ](#)

[二重切開](#)

モバイル

モバイル版のWeblioは、下記のURLからアクセスしてください。

<http://m.weblio.jp/>

スポンサードサーチ

・[Windows 7](#)

・[豊胸術](#)

・[すい臓がん](#)

・[薬剤師転職](#)

・[中高年 婚活](#)

・[寛裕占い](#)

・[毛穴ケア](#)

・[遺品回収](#)

[track word](#)

ホースミントのページの著作権

Weblio 辞書情報提供元は参加元一覧にて確認できます。



●北アメリカの東部、バーモント州からミネソタ州、南にフロリダ州それにテキサス州東部やメキシコに分布しています。道ばたや荒地などに生え、高さは60～90センチになります。茎には鈍い稜があり、よく分枝します。葉は長楕円状披針形から長楕円形で、縁には疎らで不明瞭な鋸歯があります。7月から9月ごろ、褐色または紫色の斑点のある黄色い花を、葉腋に輪生状に咲かせます。

●シソ科モナルダ属の二年草または多年草で、学名は *Monarda punctata*。英名は Horsemint、Spotted horsemint。

- あさつき
- 麻の実
- アサフェティダ
- アジョワン
- アナツト
- アニス
- アーモンド
- アンジェリカ
- ウォーターメロン
- ウォームウッド
- エンシャロト
- エストラゴン
- オセイユ
- オニオン
- オールスパイス
- オレガノ
- オレンジ
- ガーデンクレス
- シア
- ムジュツ(ゼドアリー)
- カフィライム
- カモミール
- ガランガル
- ガーリック
- カルダモン
- カレーリーフ
- キャットニップ
- キャラウェイ
- くちなし
- クベバ
- クミン
- クレソン
- クローブ
- ケーパー
- コカ
- コーラ
- コリアンダー
- コロンボパウダー
- コーンフラワー
- フラワー
- サフラン
- サラダバーネット
- サンフラワー
- しそ
- シナモン
- ジャスミン
- ジュニパーベリー
- ジンジャー
- スイートバイオレット
- スーマック
- スクリューパイン
- スターアニス
- セイボリー
- セサミ(ゴマ)
- セージ
- せり
- セロリー(シービ)
- タイム
- たで
- タビル
- ターメリック
- タマリンド
- タンジー
- ダンデリオン
- テコリ
- チャイブス
- チャービル

- アジョワン
- アジョワンの香味
- アジョワンの利用法
- アジョワンの薬効
- アジョワンとカレー料理

アジョワン

- 英名: Ajwain (アジョワン)
- 和名: アジョワン
- 学名: Carum ajowan BENITH.
- 科名: セリ科 一年草
- 原産地: 北アフリカ、北アジア
- 主な産地: インド、エジプト、イラン、アフガニスタン、パキスタンなど

アジョワンはセロリなどと同じセリ科だが、種を砕くとタイムに似た味と香りがする。インド料理には欠かせないスパイスであり、また薬用としても家庭で重宝されている。アジョワンから採れた精油には防腐効果や殺菌効果がある。

アジョワンの香味

種はタイムに似た芳香を持つが、タイムよりもいくぶん辛く刺激的な苦みがある。種を砕いて使うほか、砕いて蒸留して作られるアジョワン種子油も利用されている。アジョワンの香りはチモールという成分によるもので、精油の40～50%を占めている。

アジョワンの利用法

アジョワンはインドの家庭料理ではたいへんよく使われ、カレーパウダーの原料でもある。タイムに似た香味なので、タイムの代わりとしても利用できる。ただしその場合はタイムよりも味が濃いので、少量にすること。

南西アジアではパン、ペストリー、ピクルスにもよく使われる。

種子油はリキュールの香味づけやピクルス、ミートソース、ソース類の着香料として最適。

アジョワンの薬効

精油に多く含まれるチモールという成分は殺菌力が強く、防腐剤やマウスウォッシュ、歯磨きにも使われている。

アジョワンの種はおなかの張りや消化不良の薬として飲用する。消化の悪い豆料理やデンプン質の食べ物によくアジョワンが用いられるのも、そのためである。

アジョワンとカレー料理

アジョワンは、カレー料理を始め、インド料理全般において幅広く利用されている。インドではメジャーなスパイスだが、インド以外の国ではほとんど使われることがない。

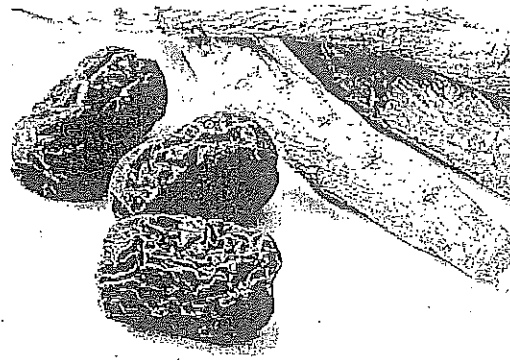
インドでは、大切なタンパク源として、いろんな料理に豆を使用する。豆を摂取することによって発生する腸内ガスを、抑制する働きがアジョワンにはある。

食用以外にも、アジョワンの強い殺菌力を利用して、伝染病の際にはアジョワン水を消毒液として用いている。

スパイス大国のインドだけに、スパイスの真髄まで知り尽くし、100%有効利用している。スパイスについて知り尽くした中で作り出されたカレー料理が、おいしくないわけがない。

- アジョワン
- アジョワンの香味
- アジョワンの利用法
- アジョワンの薬効
- アジョワンとカレー料理

資料 37



咳・のど
不眠・神経
肌・口内炎の飲み薬
肝臓・疲れ・二日酔い
もっと見る

消化器(胃・腸)
肝臓
神経痛・不眠・不安
神経痛・リウマチ・痛み
感冒・風邪・熱・肩こり
肥満・脂肪
すい臓・糖尿
泌尿器・腰・下半身
皮膚病
もっと見る

特別用途食品
特定保健用食品(トクホ)
食品・調味料・飲料など
ビタミン・ミネラル
植物性エキス
動物性エキス
発酵食品
ダイエット・シェイプアップ
栄養ドリンク(医薬部外品)
飲料水
食品
もっと見る

ヘアケア
フェイスクケア
ボディケア
ハンドケア
フットケア
むだ毛ケア
日焼け止め
デオドラント
入浴剤
メイク用品
もっと見る

湿布
消毒液
軟膏・クリーム・ローション
養毛剤
抗真菌剤
うおの目・たこ・イボ
肩こり・筋肉痛【塗り薬】
痔(ち)
目薬
虫よけ・虫刺され
もっと見る

マスク
ガーゼ類
絆創膏
包帯・バンド

(株)栃本天海堂の願い
—自然からの恵みで健康維持・増進へ—

(株)栃本天海堂は、自然からの恵みである生薬やハーブ類で、皆様の健康維持・増進のサポートができる事を誇りにしています。生薬、ハーブ類は天産物ですので、それぞれの産地の気候風土や加工方法などの違いから、品質にも違いがあります。(株)栃本天海堂では、これら生薬、ハーブ類を取り扱ってきた長年の経験と理化学的品質評価により、産地・品種の選択を行っています。また、より安全なものをお届けするために、生薬の産地状況の把握を行うべく、中国やその他の国へ現地状況の視察を実施しています。さらに、残留農薬試験等により安全性の管理を徹底しています。また、栽培においてはトレーサビリティという考えを取り入れ、種苗管理、栽培(農薬)管理、加工管理などを行っています。その上で、薬事法やGMPを遵守し、公定書(日本薬局方等)の規格に自主基準を加えて、安全で安定した品質の製品の供給に努めています。このように熟練を必要とする外観検査から高度な理化学検査を駆使し、生薬、ハーブ類は全て見て評価するもの、という「取組み」を通して、皆様の健康に寄与できることを願っています。

栃本天海堂
の
優良生薬

栃本天海堂
香需(コウジュ)
(中国産・刻) 500g【健康食品】
(画像と商品はパッケージが異なります)
(商品到着まで10~14日間程度かかります)
(この商品は注文後のキャンセルができません)

商品番号 tochiten9060-ITT

価格 4,620円 (税込) 送料別

【今すぐ使える2,000ポイントゲット!】

個数 買い物かごに入れる

友達にメール

0 いいね!

【メール】ケータイにURLを送る

★ レビューを書く

★ 買い物ポケットに保存する

★ 買い物ポケットを開く

■製品特徴

シソ科のコウジュの全草を乾燥したもの。ホソバヤマジソ、ナギナタコウジュの乾燥したものも用いる。

■形状:刻み

■服用上の注意

体質に合わない場合は、ただちに服用をやめ、医師または薬剤師にご相談ください。

■保管及び取扱い上の注意

1. 直射日光の当たらない、湿気の少ない涼しい所に保管してください。
2. 小児の手の届かない所に保管してください。
3. 誤用防止、品質保持のため、他の容器に入れ替えないでください。
4. 本品は天産物ですので、吸湿してカビが生えたり、虫が発生することがある。